

# 地球環境を考える AG-2の歳時記

AG-2の歳時記

5月がくからよ  
高学年用

企画・編集 SAPIX 環境教育センター  
https://www.sapix.com/eco/  
SAPIX YDZEMI GROUP

テーマ 長月

キャラ紹介 AG-2

ロボットとして  
再生したアマガエル  
人工知能を持つ



SAPIX からのお知らせ

環境講座サピックス  
エコクラブ3年/4年  
対象：小学3年生/4年生  
申込み：9月25日14時より  
詳しくは、ホームページをご覧ください  
https://www.sapix.com/eco/



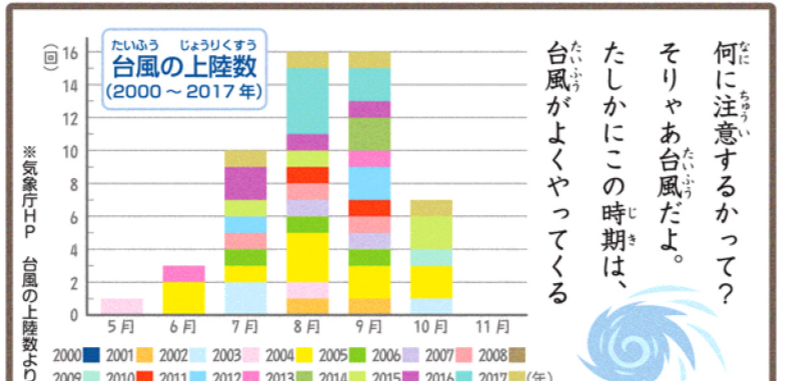
これは、起震車（地震体験車）と  
いって、  
地震を  
体験できる車  
これは、起震車（地震体験車）と  
いって、  
地震を  
体験できる車  
これは、起震車（地震体験車）と  
いって、  
地震を  
体験できる車

日本は地震だけでなく、津波、  
火山噴火、台風、豪雨、豪雪、  
土砂災害、こう水など、  
災害を受けやすい国だ  
そのため、日ごろから訓練が大事。  
特に9月1日は「防災の日」と  
いうこともあり、各地で  
防災訓練が行われる

また、9月1日は、  
昔から「二百十日」といわれ、  
「二百二十日」とも暦の上では、  
非常に注意すべき日だから  
立春から  
数えて二百十日は、  
だいたい9月1日なる

今月の  
用語解説  
関東大震災  
1923年9月1日に発  
生した巨大地震。マグニ  
チュードは、7.9とされ  
る。南関東から東海地方  
にかけてひびがひびき、死  
者10万人以上、家屋はもと  
より、電気、水道、道路、鉄  
道等にも重大な被害が発  
生した。

た。助かったのは69人。その船員達を村  
の人々は手厚く看護しました。20日後に  
船員達は無事日本の軍艦でトルコに向け  
出航し、帰国したのです。  
それから95年後。イラン・イラク戦争  
が起こり、テヘラン（イランにある都  
市）にいる日本人は国を出ることができ  
ず、困り果てていました。その時、トル  
コが日本人のために、飛行機を飛ばして  
くれたのです。昔の恩返しということで、  
日本人は全員が無事にテヘランから  
にげることができたのです。



何に注意するかって？  
そりゃあ台風だよ。  
たしかにこの時期は、  
台風がよくやってくる

台風がくれば、せっかく突った  
作物が、だめになる。  
それをおそれて、  
非常にけいけいしたんだ  
そこで、昔からこの時期に  
台風、すなわち風が吹かない  
ことを祈って、各地で  
「風まつり」が行われてきた。  
現在にも受けつがれ、  
有名なものの一つに、  
八尾（富山県富山市）の  
「おわら風の盆」がある

さて、現在は、技術が発達  
したことで、さまざまな  
災害対策がとられている。  
たとえば、地震に強い建物、  
川のはんらんやこう水を防ぐ  
ダム建設や、山からの  
土砂をせき止める  
砂防堰堤など  
しかし、備えをこえた  
災害は起こってしまう……

記憶に新しいところでは、この夏  
西日本で、**積乱雲**が次々に発生し  
（バックビルディング現象）、  
列になって（線状降水帯）、長時間  
雨を降らせた結果、歴史的な豪雨に。  
多くの人がなくなった

日本では最近、  
今生きている人が  
経験したことの  
ない異常気象に  
みまわれることが  
増えてきた  
家、道路や橋はこれ、  
農地はだめになるなど  
重大なひびが発生。  
ついに「**激甚災害**」に  
指定された

百人一首 びっくあつぷ  
今来むと 言ひしばかりに 長月の  
有明けの月を 待ち出でつるかな  
意味  
あなたがすぐに会いに  
来るといったから、  
長月（9月）の夜長に  
ねむらずにまっていたのに、  
出るのがおそい夜明けの月に  
出あつてしまいました

今後は、それが当たり前  
なるという説もある。  
ということは、今以上に  
備えが必要だということだ  
地震に対しては、家の家具を  
動かないようにしたり、へいが  
たおれないようにしたりする。  
また、地震後の生活に困らない  
ように備蓄をおこなう

地震以外の災害に関しては、  
予測が可能な場合がある。  
もし、災害の危険性が  
高いとわかったら、  
きみたちは  
どうしたらいいか？  
「ひなんだ！」  
とにかく、ひなん。  
命より大事なものはないからな

自分だけはいじょうぶ、  
うちだけは、だいいじょうぶ、  
この地域は、だいいじょうぶと、  
思うのが人という生き物だ。  
多くの人はそう思う。  
しかし、  
「天災はわすれたころに  
やってくる」  
ということわざもあるぞ

とくに、高齢者が家族にいる人、  
ハザードマップのけいけい地域に  
住んでいる人は「ひなん準備・  
高齢者等ひなん開始」が出たらひなん。  
「ひなんかんこく」が出たら、どこでも  
だれでもまよわずひなんしよう  
どんなに技術が進歩しても、  
予測ができて、  
それを上回る自然災害は、  
いつ起こるかはわからない。  
だからこそ、「風まつり」も  
今に受けつがれているんじゃないかな

日本では最近、  
今生きている人が  
経験したことの  
ない異常気象に  
みまわれることが  
増えてきた

今月の  
用語解説  
積乱雲  
むくむくとたてに長く発  
達した山のように見える  
雲。入道雲とも呼ばれる。  
夏によく見られ、雷や強い  
雨をもたらす。  
激甚災害  
風雨や地震などによる災  
害の中で人や地域をお金  
の面で助ける必要がある  
ほどひどい災害のこと。  
ハザードマップ  
自然災害のひびがどれ  
くらいひどく、どれくらい  
の地域に広がるのかを表  
し、ひなんする道すじを示  
す地図のこと。

今月のおかし  
わがしは季節の道しるべ  
【おはぎ】  
おはぎは、もち米とうち米をまぜたものを丸め、小豆の  
あんできるとお彼岸に食べるおかし。あんに使われる  
小豆のつばが、萩の花に見えるということで名前がついた  
とか。この萩、パイオニア植物といって、山火事や森林が  
なくなった後に一面にはえる。やせた土地でも生育でき、  
夏の終わりから秋に見かけられる植物だぞ。

